

2005年11月13日(日)～19日(土) ～世界YMCA/YWCA合同祈禱週に向けて～

世界のYMCA/YWCAは、11月の第2日曜日より始まる週を、心を合わせて祈る合同祈禱週としています。礼拝や日々の生活の中で行う「祈り」に焦点をあてたこの特別な一週間、世界各地でYMCA/YWCAに連なる人びとが平和のために祈りの時を持ちます。

しかし、「祈り」とは何でしょうか。また、どうして私たちは祈るのでしょうか。今ここで「祈り」について一緒に考えてみませんか？

「祈り」って何？

皆さんは祈る時、誰に語りかけますか？「天にましますわれらの父よ」と主の祈りの冒頭にあるように、キリスト教者の私達は天にいて私達を見守って下さっている神様に語りかけることから祈りを始めます。つまり、「祈り」とは祈る私達と神様との対話であるといえます。「祈り」とは天にいて私達を見守って下さる神様との交わりなのです。

どうして祈るの？

この世に生きるすべての人には弱さがあり、また人びとは日々の生活の中で時に悩み、苦しむものです。そんな時、祈りをささげ、神様と交わる事により、神様の持つやさしさや愛によって私達は強められ、慰められます。また、神様との対話で神様より近くに感じ、自分ほひとりではなく神様により愛されているものだと感じます。それにより心が満たされ、悩みや苦しみの淵から救われるのです。つまり、人は人生のエネルギーを得るために祈るのです。

祈りと私



神様に導かれた「弱いわたし」

幼少の頃の食卓に父の祈りがありました。戦後60年の原点、大家族の情景が浮かびます。両親の奨めで兄弟姉妹たちと日曜学校に通うようになり、クリスマスに初めてお祈りしたことを覚えています。高校生で受洗し、青年会の集いや日曜学校の教師の手伝いを通して子どもたちと共に学びました。職場として大阪YMCAに入会したのは奈良伝説主事の頃で、職員集会には聖書解説、祈りの時があり、又、青年部活動にも参加、音楽鑑賞を通して友と交わりました。六甲山キャンプも数回経験し、この時のリーダーの熱き祈りは今も私の心の中に生き続けています。

だと思えます。又、10年余り前から続いている釜ヶ崎への支援として、各地の個人、団体から寄せられる古着の整理作業を行って、路上生活者の減少、健康を祈りながら今後活動も続けていきます。



大岸 弘子

子どもたちの祈りが感動的

私がキリスト教に触れる機会を与えられ、初めてのお祈りをしたのは小学生の時でした。キリスト教を母体とした作業所の非常勤指導員として活動を続けていました。その施設長のお祈りを聞き、人のために祈ることのすばらしさ、温かさを感じました。そして一緒に祈りました。聖書をいただいた時には、読んでみましたが、当時は洗礼を受けるまでに至らず、祈るすばらしさを感じながらも、施設の中だけの祈りに過ぎませんでした。その後YMCAで奉職することになり、聖書や祈り、神さまがより身近になり、神さまがより身近になりました。



木田 泰之

自分自身を深く見つめよう

世界では現在も多様な問題が存在している。戦争、飢饉、経済格差……挙げればキリが無いが、これらの諸問題によって多くの人々が悩み、苦しめ、命さえ奪われていくこと、そしてそのような事実に対して人類全体が幅広く心を痛めていることが日々感じられる。

多くの人は「たとえ他者のものであろうと死を憎み、苦痛を憎む。またある人はそれを生み出した責任を有しているように思われる特定の存在、それは一國の首相であったり、事故の直接的加害者であったり、取締役や教師であったりする」を憎む。

しかし、考えてみてほしい。そのような問題を引き起こす種が自分達の心の中に必ず存在していることを、苦痛が引き起こす他者への憎悪こそ、苦痛が消えない原因であることを、人間は個々に切り離された存在ではない。個人を取り巻く全ての環境がその個人を作り、またその個人は他者の環境の一部として存在している。

全ての事物は間接的・直接的に影響し合う。世界情勢は私達の姿をそのまま反映しているのだ。そこで必要なことは、責任の所在追求や、指導者への批判、他者や社会の在り方への不平不満よりもむしろ、個人個人が深く自分自身を見つめることではあるまいか。

個人が学問や体験の中で普遍的な価値を模索し、自らを省み、物事の原因、理由をより掘り下げて考え、他者への理解を深め、憤怒や憎悪から少しでも解放されることを祈る。それが苦痛の悪循環からの脱却に繋がると思うからだ。

柴田 香南子

世界YMCA/YWCA 合同祈禱週会

日時：11月14日(月)
18:30～20:30
テーマ：「あなたは神にとって大切な人」
場所：大阪YMCA会館 101号室
問合せ・申込み：大阪YMCA 国際・社会奉仕室

TEL:06(6441)0894
FAX:06(6445)0297

E-mail: info@osakaymca.or.jp

クリスマス献金のお願い

「今を生きる子どもたちに、私たちができること」

2005年度クリスマス献金

11月1日受付スタート

大阪YMCAでは、「共に生きる社会」の実現を目指し、毎年クリスマス献金を実施しています。みなさまから寄せられる支援は、平和な社会とあたたかい地域社会をつくりだすためのプロジェクトに用いられます。一人ひとりの優しさの向こうに、子どもたちの笑顔、感謝、そして未来を創る力があることをお覚えください。どうぞ今年もクリスマス献金にご協力をご支援をお願いいたします。

※ クリスマス献金は各地域YMCAにて受け付けています。

2004年度
大阪YMCAクリスマス献金
総額10,654,061円
(3,465件)

ご協力ありがとうございました。



2004年ミャンマースタディーツアーより